

平成 25 年 8 月 23 日

広島県大学図書館協議会平成 25 年度第 1 回研修会講演

ビブリオバトルを大学図書館が推進する意義

宮城教育大学附属図書館学術情報課
学術情報管理係 吉植庄栄

0. はじめに

1. ビブリオバトルとは何か

(1) ルール

【公式ルール】

- ・発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
- ・順番に一人 5 分間で本を紹介する。
- ・それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを 2-3 分行う。
- ・全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員一票で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。

※【首都決戦レギュレーション】

1. 予選会、地区決戦、本戦すべてのビブリオバトル開始前に、司会者がビブリオバトル公式ルールおよび首都決戦レギュレーション(2 以下)を読み上げ、ビブリオバトルの趣旨を参加者に周知すること。
2. 本やエピソードを紹介するための小道具の使用は認める。
3. レジュメの配布は禁止とする。
4. 読み上げレジュメの持ち込みは禁止とする。ただし、本へのメモ書きや付箋の添付などは認める。
5. パワーポイントやキーノートなどのプレゼンテーションツールの使用は禁止する。
6. 発表者は必ず 5 分を使い切る。
7. 発表後のディスカッションでは、発表内容の批判をするようなことはせず、発表内容で分からなかった点の追加説明や、「どの本を一番読みたくなったか？」の判断をするための材料について聞く。
8. 投票の基準は、どの本が読みたくなったかであり、知り合いや身内という理由で投票を行わないこと。
9. 司会者は 10 の場合を除き、投票には参加しない。
10. チャンプ本が複数となった場合は、決選投票を行う。その際、司会者 1 名の票を 1/2 票として加える。
11. 同一人物が異なる予選会に複数回参加することは認める。ただし、すでに他の予選会でチャンプ本を獲得した者はそのぞく。

(2) 歴史

2007年 京都大学情報学研究科共生システム論研究室（片井研）谷口忠大氏の考案

2010年 ビブリオバトル普及委員会

同年 ビブリオバトル首都決戦（全国大会）2010開催

※詳しくは <http://www.bibliobattle.jp/biburiobatoruno-rekishi>

2. いかになびぶリオバトルを行うか

(1) 準備

- ・会場を決める。
- ・バトルを探す。
- ・広報をして観客を集める。（バトルを公募する。）
- ・機材を揃える（規模による）。
 - ・本立て
 - ・タイムカウンター
 - ・演台
 - ・マイク
 - ・ホワイトボード（得点集計用）
 - ・プロジェクター&PC

(2) 開催

- ・司会を決める（居ない場合もあり）。
 1. 司会挨拶（趣旨、ルール、レギュレーション説明。）
 2. バトラー紹介
 3. 順序決め
 4. バトル 5分+ディスカッション 2分×バトル数
 5. 投票
 6. チャンプ本決定
 7. チャンプ本のバトル挨拶
 8. 閉会

(3) ビブリオバトル普及委員会

3. ビブリオバトルをやってみました

(1) 仙台地区の事例報告

(2) 宮城教育大学の事例報告

4. ビブリオバトルの効能

(1) 学生

(2) 大学図書館

(3) 学生との協働

※教員養成大学や教育学部での効能

5. 大学図書館が推進する意義

(1) そもそも（大学）図書館とは何か？

(2) 利用者を読者にすることは一つの機能

6. おわりに：結論

【参考文献】

1. 谷口忠大著『ビブリオバトル：本を知り人を知る書評ゲーム』，文藝春秋，2013.4
2. S.R. Ranganathan, *Reference service*, 2nd ed., Asia Publishing House, c1961

■質問ご意見等は是非下記にお寄せ下さい。

吉植 庄栄（よしうえ しょうえい）

宮城教育大学附属図書館学術情報管理係

Tel:022-214-3348 e-mail:syoshiue@staff.miyakyo-u.ac.jp

Twitter: @Sakuragiiwakiri

※携わったビブリオバトルは Facebook にて情報を公開しています。

<https://www.facebook.com/shoei.yoshiue>